

平成28年度青森県協同農業普及事業外部評価委員会における評価結果及び改善策

【普及指導活動の体制】

内 容	評価結果	主な意見等	普及指導活動体制の改善策
普及指導の組織体制、人員の動向、資質向上の取組状況等	A：1名 B：5名	<ul style="list-style-type: none"> ・求められる仕事に対して人員が不足していると感じるので、少なくとも現状の人員を維持してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革が進む中、できるだけ現在の人員の維持を図るとともに、引き続き、効果的かつ効率的な普及指導活動を行う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・普及指導員資格試験の合格率を上げるためには、新規採用職員の負担をなるべく減らせるような配置にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試験は、農政全般の基礎的な知識や、普及指導手法等の内容となっているため、全ての職員が合格できるよう、OJTで普及指導手法を習得させるほか、集合研修等の充実を図る。
		<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成計画には、新規就農者など担い手の育成に係る能力の向上についても記載すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者など担い手の育成は、普及指導員共通の重要な課題であると認識しており、人材育成計画において、普及指導員の果たすべき役割の一つとして記載している。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ある年齢に達したら、希望する研修を積極的に受けさせることも必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務が多忙等の理由により、職員が積極的に研修を受けない場合もあることから、積極的に研修を受けやすい環境づくりに努める。

評価区分 A：大いに評価できる B：概ね評価できる C：やや評価できる D：一部改善が必要 E：大幅な改善が必要

【主な普及指導計画】

東青地域県民局地域農林水産部

課 題 名	評価結果	主な意見等	普及指導計画の改善策
<p>「青天の霹靂」の生産拡大とブランド化の推進</p>	<p>A : 1名 B : 4名 C : 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生産目標達成率の目標値は、安全性を見て高い水準となっているが、底上げを図るような水準の方が望ましいのではないか。 生産目標達成率の目標値は、各年度とも100%となっているが、少しずつ上がっていく方がよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生産目標は、ブランド米としての評価を高めるために、あおもり米「青天の霹靂」ブランド化推進協議会が設定したものであり、作付面積が拡大しても100%を目標に活動に取り組む。
		<ul style="list-style-type: none"> 目標項目として、生産目標達成率だけではなく、生産目標数量も追加してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生産目標数量は、作付面積にほぼ比例することから、作付面積を目標項目として設定しているため、新たな目標項目としない。なお、良食味を目指すため、収量目標を10a当たり9俵程度と設定している。
		<ul style="list-style-type: none"> 玄米タンパク質含有率の基準は、6.0%以下と6.4%以下の二つではなく、6.0%以下の一つだけとした方がよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「青天の霹靂」の出荷基準は、玄米タンパク質含有率6.4%以下と定めているが、より良食味な米を生産するため、生産目標を6.0%以下としており、引き続き、これを目標に取り組む。
		<ul style="list-style-type: none"> 生産目標達成率が低い原因を究明し、高めるような対策をしっかりと実施し、ブランドの水準を維持してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年産の検査実績や栽培管理記録等を活用しながら、達成率が低い原因を究明し、目標未達成の生産者を重点的に支援する。

評価区分 A : 大いに評価できる B : 概ね評価できる C : やや評価できる D : 一部改善が必要 E : 大幅な改善が必要

【主な普及指導計画】

中南地域県民局地域農林水産部

課 題 名	評価結果	主な意見等	普及指導計画の改善策
市場ニーズや地域特性に応じた高品質ももの生産推進	A：1名 B：5名	<ul style="list-style-type: none"> 産地化やブランド化に向けた適切な数値目標の設定が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ももの産地化を図るためには、果実品質の底上げや、出荷量の拡大が重要であると認識しており、目標として糖度基準11%以上の規格割合80%以上と、出荷量300トンを設定している。農協によっては、より糖度の高い果実をプレミアム商品として販売しているので、ブランド化に向けた新たな数値目標や、出荷量の更なる拡大については、市場動向等を見ながら検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> 果実の一時冷蔵保管の検証に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> りんご研究所に試験を委託しており、更に、各農協の現有冷蔵施設を活用した実証試験に取り組んで検証に努める。

評価区分 A：大いに評価できる B：概ね評価できる C：やや評価できる D：一部改善が必要 E：大幅な改善が必要

【主な普及指導計画】

三八地域県民局地域農林水産部

課 題 名	評価結果	主な意見等	普及指導計画の改善策
経営所得安定対策のフル活用を目指す水田農業の確立	A：2名 B：4名	<ul style="list-style-type: none"> ・収益性や組織運営への影響を考慮した課題設定が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の経営の維持が重要となることから、新たに、経営分析を含め組織の運営に関する課題を設定する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・小麦以外の収量に係る目標値が低いのではないか。 ・目標値を達成している項目は、次年度の目標値を高く設定してはどうか。 ・水稻の収量に係る目標値が3年間同じなのは消極的ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各組織の技術レベルと実績を踏まえ、作目毎に適正な収量の目標を再設定する。

評価区分 A：大いに評価できる B：概ね評価できる C：やや評価できる D：一部改善が必要 E：大幅な改善が必要

【主な普及指導計画】

西北地域県民局地域農林水産部

課 題 名	評価結果	主な意見等	普及指導計画の改善策
シャインマスカットの産地育成	A：4名 B：2名	<ul style="list-style-type: none"> 栽培面積に係る目標値をもっと上げてよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> シャインマスカットの産地育成に向けた取組を強力に展開したことにより、栽培面積の平成28年度目標を達成したことから、29年度以降の目標値を引き上げる。
		<ul style="list-style-type: none"> 関東等へ出荷する場合は、粒の大きさが評価の対象となるので、品質に係る目標項目を追加してはどうか。 出荷または販売に係る目標項目を追加してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 28年度から産地市場（弘果）と協議し、暫定的に出荷基準を糖度18%以上、粒の大きさ1粒15g以上に設定したところであるが、ある程度生産量が増えた段階で、産地育成会議で統一的な出荷基準を検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> 長期貯蔵技術の確立に係る目標項目を追加してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに、長期貯蔵技術の確立を目標項目に追加する。

評価区分 A：大いに評価できる B：概ね評価できる C：やや評価できる D：一部改善が必要 E：大幅な改善が必要

【主な普及指導計画】

西北地域県民局地域農林水産部

課 題 名	評価結果	主な意見等	普及指導計画の改善策
産直組織等を核とした西北産品の販売拡大	A：2名 B：4名	<ul style="list-style-type: none"> ・育成した女性起業家の事業継続を支えるフォローアップに係る課題を設定としてはどうか。 ・ネットワーク協議会員や女性起業家を自立させるような指導が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続や拡大を目指す女性起業家への巡回により個別に抱えている課題を把握・整理する。また、その解決に向けた指導・助言を行うとともに、支援制度の情報提供や具体的なアドバイスを行う「あおり食品ビジネスチャレンジ相談会」に誘導するなどフォローアップ活動を新たに実施し、女性起業家の自立を促す。
		<ul style="list-style-type: none"> ・所得が残るような起業家を育ててほしい。 ・販路拡大として、もっとスーパー等に出て行ってもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、研修会の開催や商談機会の提供など経営や販路拡大のための指導・助言を行う。

評価区分 A：大いに評価できる B：概ね評価できる C：やや評価できる D：一部改善が必要 E：大幅な改善が必要

【主な普及指導計画】

上北地域県民局地域農林水産部

課 題 名	評価結果	主な意見等	普及指導計画の改善策
牛群検定成績を活用した飼養管理技術の向上	A : 2名 B : 3名 C : 1名	<ul style="list-style-type: none"> 牛群検定に参加している生産者に対し、全体での自分の立ち位置が見えるような形で返せば、もっと役立つのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 検定成績の平均値と個別成績を比較するなど、それぞれの技術レベルを把握できるように、検定結果のフィードバック方法を工夫する。
		<ul style="list-style-type: none"> 目標項目の基準数値を明示した方が分かりやすいのではないか。 新規取組者や後継者への支援に係る目標項目を追加してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標項目の基準数値を示し、分かりやすい解説を加える。 畜産業における新規取組者や後継者の育成は、重要な課題であると認識しており、この課題とは別に検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> 一般県民でもある程度分かりやすい表現にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般県民に普及事業を理解してもらおう観点からも、できるだけ分かりやすい表現に努めるほか、専門用語については、解説を加える。

評価区分 A : 大いに評価できる B : 概ね評価できる C : やや評価できる D : 一部改善が必要 E : 大幅な改善が必要

【主な普及指導計画】

上北地域県民局地域農林水産部

課 題 名	評価結果	主な意見等	普及指導計画の改善策
野辺地葉つきこかぶの産地力向上	A : 1名 B : 3名 C : 2名	<ul style="list-style-type: none"> こかぶ塾の強化が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の技術向上を図るため、夏期の現地研修等に加え、新たに、冬期の先進地視察研修や、優良農家を講師とした栽培体系の研修を行うなど塾の活動を強化する。
	<ul style="list-style-type: none"> 作業の軽労化も大事な視点ではないか。 労力にあった販売額を上げるような支援が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 葉つきという出荷形態であり鮮度面が重要視される中で、収穫調製作業は手作業に頼らざるを得ない状況にあるが、作業の軽労化について、他産地の情報を収集しながら、検討する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> もっと県内外へ生食による味のPRに力をいれてはどうか。 関係機関と連携した販路拡大等に係る具体的な課題設定が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> トップセールスや総合販売戦略課が実施する宣伝活動と連携しながら、引き続き、県内外の量販店等で、生食できる素材の特性を前面に出した活動を展開する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> エリアにとらわれずに、適作地の拡大による生産量の確保が必要ではないか。 目標項目として、販売単価を追加してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 商標は「野辺地葉つきこかぶ」であるが、広域的な「ゆうき青森農協」が野辺地町に限らず、東北町においても生産しており、引き続き、この地域内で新規作付者の掘起こしによる生産量の確保を図る。 販売単価は市況に大きく左右され、数値目標として適切でないことから、比較的販売単価の高い夏季の専用品種の作付面積で評価する。 	

評価区分 A : 大いに評価できる B : 概ね評価できる C : やや評価できる D : 一部改善が必要 E : 大幅な改善が必要

【主な普及指導計画】

下北地域県民局地域農林水産部

課 題 名	評価結果	主な意見等	普及指導計画の改善策
担い手育成と野菜生産拡大を通じた直売所の活性化	B：6名	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も直売所の活性化に向けた多様な活動を継続してほしい。 ・販売額を伸ばす方向性として、下北地域では水産分野がよいのではないか。 ・農産物だけでなく、水産物もうまく利用し合っていったらよいのではないか。 ・野菜づくりの担い手を確保するためには、退職者に自家菜園から直売所に出荷してもらってはどうか。 ・販売額を上げるためには、地域の異業種との連携のほかに、他地域からのゲストを招き、地元の交流の場とすることもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業や水産加工、食品製造業など異業種との連携の機会の創出や、新たな出荷者の育成・確保など直売所の活性化に向けた活動を行う。 ・水産加工品等の出荷拡大による販売額の向上を図るため、引き続き、漁業者や漁協等と連携した取組を行う。 ・新たに、異業種が連携した販売イベントやPR活動を実施することとし、その中で、他地域との交流の実施を検討する。

評価区分 A：大いに評価できる B：概ね評価できる C：やや評価できる D：一部改善が必要 E：大幅な改善が必要